

麻しん（はしか）患者の発生について

令和8年4月7日作成
山梨県感染症対策センター

令和8年4月7日（火）、峡南保健所管内の医療機関から同保健所に麻しん発生の届出がありました。当該患者の病型は修飾麻しんであり、典型的な麻しんの症状が少なく、感染力は弱いとされています。

管轄保健所の調査により、周囲に感染させる可能性のある期間（注）に利用した施設があることが判明しました。不特定多数の方と接触している可能性がありますので、広く注意喚起するものです。

（注）発症日の1日前から、解熱後3日間を経過するまでの間

1 患者情報

峡南保健所管内在住 20代 男性（麻しん予防接種歴不明）

令和8年4月4日 発症（発熱）

令和8年4月7日 医療機関を受診、遺伝子検査の結果、麻しん陽性が判明

※麻しん発生事例のある都道府県に3月25日まで在住

2 周囲に感染させる可能性のある期間に患者が利用した施設

日付	利用時間帯	利用施設
4月5日（日）	9時13分発～9時59分着	JR身延線波高島駅からJR身延線東花輪駅
	10時10分～11時10分頃	トライアルマート西花輪店
	11時28分発～12時30分着	JR身延線東花輪駅からJR身延線波高島駅

○ 施設への直接のお問い合わせは御遠慮ください。

○ 麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以内と言われておりますので、現時点で上記施設を利用しても、感染の心配はありません。

3 患者と接触した可能性がある方へ（注意喚起）

○ 麻しん患者と接触（同一空間を共有）した場合は、潜伏期間（発病までの期間）を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。

○ 上記日時に当該施設をご利用された方で、発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

○ 過去に麻しんにかかったことがあるか、予防接種歴があるかをご確認ください。

○ 受診の際は、周囲の方に感染させないよう公共交通機関等の利用を避けてください。

○ 心配なことなどがありましたら、最寄りの保健所にご連絡ください。

（保健所問い合わせ先）<https://www.pref.yamanashi.jp/kansensho/kanssenhokenjyokankatsu.html>

※本情報提供は、感染症の拡大防止のために行うものですので、報道関係者各位におかれましては、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について本人が特定されないことがないよう、また、施設に対する風評被害がないよう格段のご配慮をお願いします。

麻しん

●麻しん(はしか)とはどんな病気？

・麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。肺炎などを併発することが知られているほか、1,000 人に 1 人の頻度で起きる重い合併症に「脳炎」があります。

●どんな症状があるの？

・典型例では、感染の約10日後に発熱や風邪症状、2～3日発熱が続いた後、39℃以上の高熱とともに発疹、咳が出現します。

●どうやって感染するの？

・麻しんウイルスは、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。麻しんは感染力がとても強く、学校や会合など集団生活の場で多数に感染が広がることがあります。春から初夏にかけて流行しやすい時期で、連休など人の移動が多い時期には広域に感染拡大するおそれがあります。免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

●治療方法と予防策は？

・発症すると特異的な治療法はなく対症療法が中心となります。中耳炎、肺炎など細菌性の合併症を起こした場合には抗菌薬の投与が必要となります。

・麻しんの最も効果的な対策は、予防接種です。

・確実に麻しんに対する免疫を得るには、2回の予防接種が必要です。

・予防接種法によって公費で接種できる対象年齢は、1歳児及び小学校就学前の1年間です。この定期接種の対象者には、お住まいの市町村から問診票などが配布されます。定期接種が受けられる医療機関については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

・麻しんの予防接種に使用されるワクチン(医薬品)には、麻しん風しん混合ワクチン(MR ワクチン)があり、生ワクチンに分類されますので、**妊娠中の方は接種を受けることができません**。また、接種後2か月は、胎児への影響を考慮し避妊する必要があります。ご注意ください。

●海外渡航の際の注意事項

・麻しんにかかったことが明らかでない場合、渡航前には、麻しんの予防接種歴を母子健康手帳などで確認し(※)、2回接種していない場合は予防接種を検討してください。

※麻しんの既往歴や予防接種歴が不明の場合は抗体検査を検討してください。

・帰国後には、2週間程度は麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意してください。

参考

県内の発生状況（麻疹発生届数）										
	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	197*
山梨	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0*

*感染症発生動向調査による。令和8年の値は13週（3月23日～3月29日）の累計速報です。

その他の参考情報

- 厚生労働省ホームページ「麻疹」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

- 国立健康危機管理研究機構ホームページ「麻疹」

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/measles/index.html>

- 山梨県ホームページ「麻疹」

<https://www.pref.yamanashi.jp/kansensho/55791366442.html>